

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月12日更新

事務事業名	三つの木の家社会教育事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	牧野 淳一
体系	施策	10	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	前田 純子
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備	所属班	生涯学習班	(内線)	1502
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 5	事業連番 10833	根拠法令	三つの木の家条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	三つの木の家の計画的な維持管理に努めることで、市民に対して学習活動に専念できる環境と、学びの場への参加機会を提供する。 また、平成11年度から社会教育施設として再スタートし、学校だけでなく住民団体の活動にも使用できるようになった。 ※平成30年度より「三つの木の家社会教育事業」と「三つの木の家維持管理事業」を統合。
【業務の流れ】	①管理人対応(配置、報酬支払い、利用者受け入れ対応、予約受付) ②屋内管理(光熱水費支払い、施設管理用備品契約、機械警備契約、定期清掃、施設修繕等) ③屋外管理(樹木管理、芝生広場管理、施設修繕等、ボイラー清掃点検委託)
【主な予算費目】	報酬(指導員及び管理員)、職員手当(日直手当、賃金)需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費、燃料費)、役員費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	敷地面積が広く、樹木や芝生の管理も数多くこなす必要があるため、管理における多種多様な備品の購入と、管理人増員の要望が挙がっている。 また、築30年を迎え、施設の劣化及び老朽化が見られる為、中長期の保全計画を立て計画的な修繕・改修を行う必要がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・施設の維持管理、社会教育指導、自主事業実行委員会への負担金交付を行った。 ・通学宿泊体験研修(対象:市内小学生)は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 ・こころ子ども塾(対象:市内小学生)は、10月から11月にかけて全4回実施した。 ・子ども体験学習(対象:市内小学生)は、9月にボディペインティング体験を実施した。 ・ふれあい交流(対象:市民)は、12月にミニ門松づくり教室を2回実施した。2月に陶芸教室を実施した。	三つの木の家自主事業実行委員会への負担金交付、施設の維持管理(施設修繕・樹木管理・清掃等)、利用者受け入れ対応、各自主事業の実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
ア: 人件費、物件費の事業費実績額	円 会計年度任用職員の昇給による報酬・期末手当の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市民(市内在住・在勤・在学)	(単位) 人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
学習活動に専念できる環境と学びの場への参加機会がある。	(単位) 施設利用者数
	自主事業の申込者数
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 施設利用者数や自主事業の申込者数が増加すれば、学習活動に専念できる環境と学びの場への参加機会を提供できると考えられるため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	円	5,905,162	6,211,414	6,000,000	6,222,966	6,000,000	6,000,000	6,000,000	6,000,000
② 対象指標	人	63,189	63,841	64,614	64,614	65,500	66,391	67,270	68,688
③ 成果指標	人	1,924	2,357	5,000	2,415	5,000	5,000	5,000	5,000
	人	229	203	350	218	350	350	350	350
投資 入費 量	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	127	127	287	136	287	287	287
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	5,778	6,093	6,860	6,087	7,106	7,106	7,106
	(A) 事業費計	千円	5,905	6,220	7,147	6,223	7,393	7,393	7,393
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	5	8	2	8	2	2	2
延べ業務時間	時間	950	870	270	870	270	270	270	
(B) 人件費計	千円	3,745	3,401	1,075	3,311	1,075	1,075	1,075	
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,650	9,621	8,222	9,534	8,468	8,468	8,468	

事務事業名	三つの木の家社会教育事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【理由】 施設の老朽化が進み、修繕の必要な箇所があるため、中長期保全計画に基づく施設の維持管理が必要である。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 築30年を超えており、施設各所にて修繕が必要な箇所が増えているが、計画的に修繕・改修を進めることで目標を達成することは可能である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由】 中長期に渡る修繕・改修計画を立て、施設の維持管理を行い、成果を向上させることが可能である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 当施設と目的が類似しており、宿泊可能である研修施設が他に無いため。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 開館から30年が経過し、施設全体やボイラー、その他事務機器の経年劣化による修繕が今後必要になってくると考えられる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由】 管理業務のほとんどを会計年度任用職員の管理員及び指導員に任せており、正規職員は最低限の事務を行っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由】 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設に維持管理の一端を担っていただくため、施設使用料の負担をいただいている一方、空調使用料は徴収していないため、見直しの余地がある。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 指定管理者制度への移行なども検討する必要がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

築30年を超え、施設の老朽化が進んでおり、修繕・改修計画を立て、今後適切な施設維持を行う必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						